

第3次半田市生涯学習推進計画（案）概要版

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



I 計画の概要

計画の目的と改訂の背景

本市は、令和3年4月に「第3次半田市生涯学習推進計画」を策定し、市民が主体的に学び、その成果を生活や地域社会に活かすことで、心豊かに生きられる社会の実現を目指してきました。学びは個人の成長だけでなく、人と人とのつながりを育み、地域の活力を生み出す力ともなります。

策定から5年が経過する中で、少子高齢化や人口減少、地域コミュニティの希薄化、デジタル技術の進展、働き方やライフスタイルの多様化など、生涯学習を取り巻く環境は大きく変化しました。

「人生100年時代」を迎える、学びを通じて心身の健康や生きがいを実感できる社会を築くこと、すなわちウェルビーイングの実現が重要な視点となっています。また、国の「第4期教育振興基本計画」や愛知県の「第3期生涯学習推進計画」においては、リカレント教育やデジタル活用が重視されています。

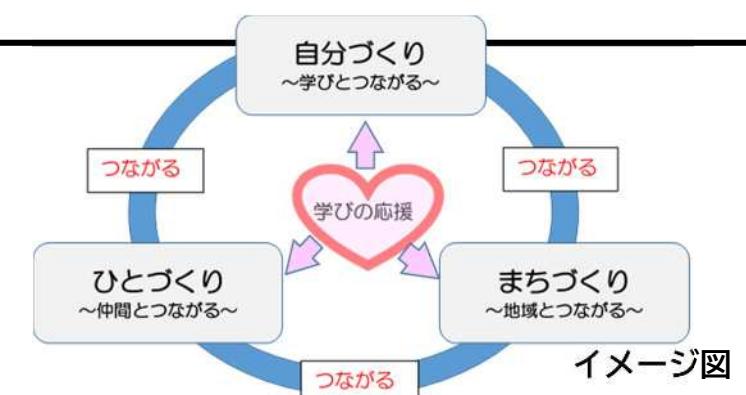
本市は、令和7年度（中間年度）の改訂を機に、これらの動向や市民の意識を踏まえ、課題を整理し、基本理念を維持しながらデジタル技術を活かした学習支援、働く世代の学び直しの推進、若い世代の学習環境の充実などの施策を位置づけています。今後は改訂版計画を指針に、市民が学びを通じて自らの可能性を広げ、人生を豊かにし、世代を超えて支え合う社会の実現を目指します。

計画期間 令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)の10年間 ※令和8年4月改訂

II 基本理念

だれもが楽しみ 学びでつながる

自分づくり ひとづくり まちづくり



III 基本目標

「市民一人ひとりのライフスタイルに合わせた学びを応援する。」

その1 「自分づくり」のための学びの応援

その2 「ひとづくり」のための学びの応援

その3 「まちづくり」のための学びの応援

はんだ学びプラン 第3次半田市生涯学習推進計画改訂版(令和8年4月改訂)
半田市教育委員会生涯学習課（半田市福祉文化会館内）
〒475-0918 半田市雁宿町1丁目22番地の1 TEL：0569-23-7341
FAX：0569-23-7629 Mail：shougai@city.handa.lg.jp

IV 施策体系

1 「自分づくり」のための学びの応援

- 学習機会の充実…ライフステージ（乳幼児期から高齢者まで）に応じた学習機会の提供
- 学習情報提供の充実…より効果的な情報発信
- 読書支援の充実…乳幼児期からの継続的な読書支援

2 「ひとづくり」のための学びの応援

- 生涯学習推進のための人材活用と育成
 - 学んだことを活かすことのできる場の提供
 - …自主的な講座を開設する講師と市民の支援
 - 人材育成の充実と支援…市民活動団体やボランティアの活躍の場の提供
- 市民の自主的な講座開設のためのシステムづくり…自主的な学び合いの支援

3 「まちづくり」のための学びの応援

- 生涯学習施設での学びの応援…誰もが使いやすい施設とするための整備
- 伝統行事に参加する市民への応援…半田市の文化のアピール
- 地域の資源を活かした各種連携への応援…日本福祉大学、小中学校、高等学校、企業等の連携
- 健康で心豊かなまちづくりにつながる学びの応援
 - …地域課題や生活課題に応じた学習機会の充実
- 文化・芸術活動の参加機会の充実と活性化
 - 参加機会の充実…施設の特性を活かした各種講座の開設
 - 文化・芸術活動の活性化…市民が触れ親しめる機会の提供

基本計画

1 「自分づくり」のための学びの応援

(1) 学習機会の充実

乳幼児期

- ・親子遊びや育児に関する講座を開催します。
- ・乳幼児の保護者向けの家庭教育講座・講演会を開催します。
- ・子育て支援拠点施設を充実させます。

成人期

- ・デジタルスキル向上の講座など、勤労者のニーズに応じた講座を充実させます。
- ・再就職などのきっかけづくりになる講座の開設や情報提供を図ります。

生涯全般

- ・子どもから高齢者、障がい者等誰もが、学びたい時に、学ぶことのできる学習機会の充実を図ります。
- ・自分らしく生きるための学びのきっかけとなる講座を開設します。
- ・スポーツに親しむことができる機会の拡充を図ります。
- ・スマートフォンやパソコン等のデジタルツールの活用を支援します。

(2) 学習情報提供の充実

- ・半田市報や市ホームページ、講座・イベント情報誌、ゲストティーチャー情報誌など、幅広く学習情報報を提供します。

(3) 読書支援の充実

- ・子どもの読書活動を支援します。
- ・誰もが利用しやすい図書館サービスを提供します。

2 「ひとづくり」のための学びの応援

(1) 生涯学習推進のための人材活用と育成

人材活用

- ・ゲストティーチャー（市民ボランティア講師）を市民が気軽に活用できるよう制度の改善・周知を図ります。
- ・市民が「学びと出会い」、「学ぶ人」となる講座（まなびとゼミ）を精選し、充実を図ります。
- ・自主的な講座を開設できるような情報を提供します。

人材育成

- ・市民活動団体やボランティアの活躍の場を提供します。
- ・地域活動へ青少年の自主的、自発的な参加を促進し未来のリーダーの育成を図ります。

(2) 市民の自主的な講座開設のためのシステムづくり

- ・市民が、自主的に学び合いを続けることができるよう支援します。
- ・教えたいと考えている市民へ、活躍の機会の提供を図ります。

3 「まちづくり」のための学びの応援

(1) 生涯学習施設での学びの応援

- ・地域のまちづくりを考える場として、誰もが利用しやすい生涯学習施設とするための整備を進めます。
- ・公共施設の有効活用等により、子どもたちが安心して学習できる環境を整備します。

(2) 伝統行事に参加する市民への応援

- ・半田市の特色である海運・醸造文化やそこから育まれた山車を始めとした祭礼民俗文化を発信することで、市民の文化財保護意識の高揚を図るとともに、伝統行事への参加を促します。

(3) 地域の資源を活かした各種連携への応援

- ・日本福祉大学、小中学校や高校、市民活動団体や企業との連携を図り、生涯学習推進事業を充実させます。
- ・企業ゲストティーチャーによる小中学校への出前講座や一般向け講座を充実させます。
- ・各団体が協力・連携した生涯学習関連の講座やイベントが開催できるよう相互連携の推進を図ります。

(4) 健康で心豊かなまちづくりにつながる学びの応援

- ・地域課題や生活課題に応じ、解決するための取組を応援します。
- 「青少年の健全育成のためのまちづくり」「市民活動の活発なまちづくり」「自分らしく生きられるまちづくり」「多文化共生への意識づくり」「健康的なまちづくり」「ふくしの理解がすすむまちづくり」「環境を意識したまちづくり」等の学習を充実させます。

(5) 文化・芸術活動の参加機会の充実と活性化

参加機会の充実

- ・各生涯学習施設の特性を活かしながら、各種講座の開設、市民が気軽に参加できる機会を充実させます。

文化・芸術活動の活性化

- | | | |
|----------------------------|--------------------------|------------------------|
| ・市民が文化・芸術活動を活発に行えるよう支援します。 | ・気軽に文化芸術に触れられる機会を提供します。 | ・企画展、館蔵品展示等の展示会及び講座の開催 |
| ・郷土の歴史への理解と文化の振興を図ります。 | ・新たな音楽文化の醸成を図る事業を充実させます。 | ・新美南吉を通じた学びの応援 |
| | | ・特色ある半田の文化の魅力的な発信 |
| | | ・学校等と連携した郷土学習の推進 |
| | | ・歴史的観光資源でのイベント開催 |